

SDGs目標14 解決すべき問題点

学校名: 仙台市立広瀬中学校 名前: 進藤 千枝

対象	3年
科目	社会科
時間	1時間
参考資料	『あおいほしのあおいうみ』 ほか 東京書籍発行の教科書

単元名	国際理解
目標	その1 地球の環境問題についての現状を知る。 その2 環境問題をSDGsと関連付けて考えられるようにする。 その3 環境問題を自分事として捉え、考えられるようにする。

期待できる学習効果

- ・その1 自分の身近な所から地球規模の問題を理解することができる。
- ・その2 環境問題を自分事として捉えることができる。
- ・その3 環境問題の解決に向けて考えることができる。

子どもたちの反応・感想

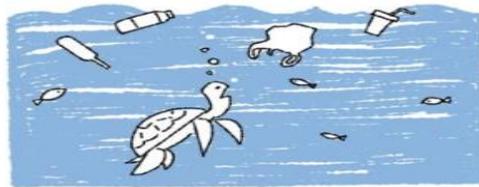
- ・ゴミを減らしただけでは、海はきれいにならないことがわかった。
- ・自分が思った以上に深刻だとわかった。
- ・課題は山積しているが、一つ一つ解決していかなければならないと思った。
- ・人間は食物連鎖の上にいるので、一つ一つの生き物に真剣に向き合うべきだと思った。
- ・世界の海を守ることは大人にしか出来ないことだと思っていたが子供でも出来ることがわかった。
- ・陸の上での生活が、海に大きく影響していることがわかった。
- ・海の中のCO2を減らす取り組みをしなければならぬと思った。

SDGs目標14 解決すべき問題点

SDGs目標14「海の豊かさを守ろう」とは？

「海の豊かさを守ろう」は、持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標の一つです。地球の表面の70%を占める海は、私たちの生命を支える重要な役割を果たしています。海の生態系は、気候変動の緩和、食料の供給、そして多くの生物の生息地を提供しています。しかし、**近年、海洋汚染、過剰漁獲、そして気候変動**などにより、海の生態系は深刻な脅威にさらされています。この目標は、2030年までに海の資源を持続可能な形で利用し、海洋汚染を防止し、海洋酸性化に対処することを目指しています。

＼ たとえば、こんな問題が… /



私たちが使っているペットボトルやビニール袋などのプラスチックゴミが年間900万～1400万トン(2016年時点)、海に流れ出しています。

出典：UNEPホームページ「Our planet is choking on plastic」

どんな課題があるか、現状を知ろう！

課題①：海洋汚染

主に人間の活動によってもたらされる廃棄物（プラスチックごみ、化学物質、油など）が、川や風雨によって海へ流れ込み、海洋生物の生存を脅かしています。その中には海洋生物に直接健康被害をもたらす化学物質も少なくありません。他にも海に捨てられたプラスチックごみは、海洋生物が誤って摂取したり、絡まったりすることで、死に至るケースもあります。さらに被害は海洋生物だけでなく、**マイクロプラスチックなどの目に見えない化学素材が、食物連鎖を通じて人が摂取した場合に、人体に悪影響を与える可能性なども注目されています。**



課題②：過剰漁獲

過剰漁獲とは、海で繁殖し、生態系のバランスが維持されていく以上の魚を漁獲してしまうことで、魚類の絶滅もしくは致命的な減少に繋がる可能性があります。その為、漁業では一般的に適切な漁獲量の管理を行っています。しかし一方で、世界の漁業資源の30%が過剰漁獲されているというデータが示すように、一部で乱獲が行われ、多くの魚種が絶滅の危機に瀕していることも現状です。こうした乱獲は、**海洋生態系のバランスを崩し、結果的に漁業に携わる人々の生活にも大きな影響を与えます。**

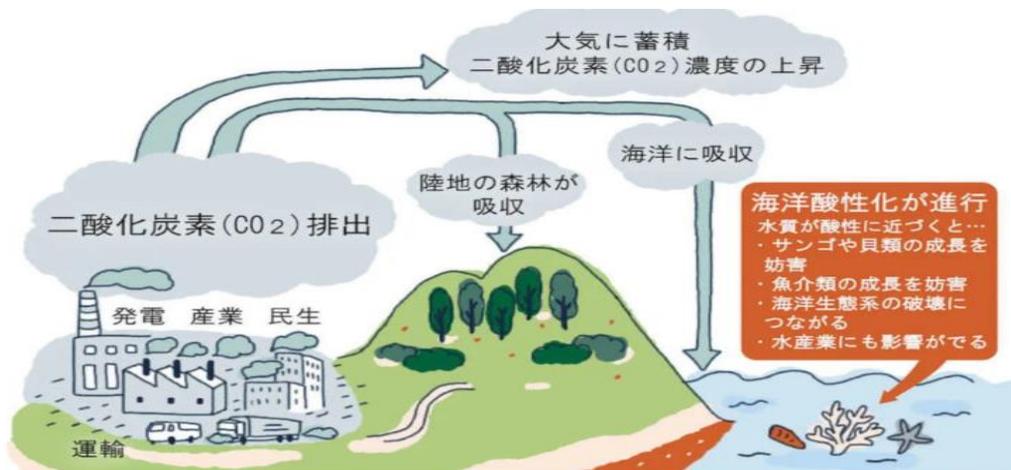


課題③：海洋酸性化

大気中の二酸化炭素が海に吸収されることで、海水が酸性化しています。その吸収量は世界全体で排出される二酸化炭素量の約1/4に相当すると言われるほどになります。

こうした海洋酸性化は、**サンゴ礁の白化や貝類の殻の形成を阻害するなど、海洋生態系に深刻な影響を与えています。**

ある研究データによると、このまま二酸化炭素の排出量を抑制しなければ、海洋表面の酸性・アルカリ性の強さを示す平均pH値は、21世紀末までに最大0.3低下すると予測。それが現実になれば、海の生態系に壊滅的な影響を与える可能性があると言われています。



海洋酸性化が起こる仕組み